

NO. 37

平成 29 年 6 月 25 日発行



こころ

特定非営利活動法人

指定就労継続支援B型事業所

阿波就労支援センターアスカ

〒771-1702 徳島県阿波市阿波町久原36番地2

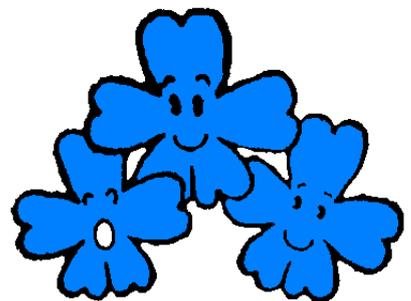
電話・0883(35)6020

FAX・0883(26)5560

メールアドレス info@npo-asuka.org

アスカホームページアドレス

<http://npo-asuka.jp>



努力すれば成果あり

理事長 笠井 光顕

平素はアスカをご支援いただきまして誠にありがとうございます。

さて、今回はアスカの生い立ちについてまとめてみました。
平成12年4月1日に阿波町で阿波町小規模通所作業所アスカを設立しました。
設立当初は職員3名と利用者6名でスタートしました。
職員は3名とも福祉関係の仕事に従事するのは初めてでしたので知識を取得するのに大半の時間を費やしました。
特に作業所関係の会合、研修会等には県内外を問わず、優先して出席してきました。今後も研修会等への出席を第一に考えて取り組んでまいります。
今になって考えてみますと、三人ともに福祉の素人であったのが福祉に真剣に取り組んだことにより功を奏したことでしょう。
今も施設長、事務局長、サービス管理責任者として頑張っています。

平成20年4月から特定非活動法人アスカとして活動をしています。
法人化により社会からの認知度が高まり、諸事業がやり易い反面、責任感が増してきました。

利用者の社会参加の一環として平成18年から平成24年8月にかけて四国88ヶ寺巡拝を無事結願し高野山へのお礼参りも終えることができました。

平成24年12月1日から阿波就労支援センターアスカ
(指定就労継続B型事業所)として活動しています。

これからもご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

活動報告

- 平成 29 年 1 月 5 日 (木) 初詣&徳島駅伝応援
平成 29 年 1 月 14 日 (土) 水中ウォーキング
平成 29 年 1 月 28 日 (土) カラオケ
平成 29 年 2 月 4 日 (土) 調理実習
平成 29 年 2 月 10 日 (金) 28 年度福祉サービス苦情解決事業第三者委員研修会
平成 29 年 2 月 13 日 (月) 給食会議
平成 29 年 2 月 14 日 (火) サービス調整会議
平成 29 年 2 月 18 日 (土) きょうされん徳島 来所 (見学)
平成 29 年 2 月 20 日 (月) 就労サポート吉野川ハローワーク来所 (見学)
平成 29 年 2 月 25 日 26 日 (土・日) きょうされん第 16 回四国ブロック学習会
平成 29 年 3 月 11 日 (土) 水中ウォーキング
連絡協議会 親睦会
アスカ理事会
平成 29 年 3 月 13 日 (火) サービス調整会議
平成 29 年 3 月 17 日 (金) NPO 説明会
平成 29 年 3 月 18 日 (土) 買い物実習 綾川イオン
平成 29 年 4 月 8 日 (土) 水中ウォーキング
平成 29 年 4 月 11 日 (火) サービス調整会議
平成 29 年 5 月 13 日 (土) 水中ウォーキング
連絡協議会 総会
平成 29 年 5 月 27 日 (土) カラオケ
平成 29 年 5 月 30 日 (火) 阿波地区民生委員・児童委員協議会 交流会
(阿波体育館にてスポーツ交流)
平成 29 年 6 月 3 日 (土) アスカ総会
平成 29 年 6 月 10 日 (土) 水中ウォーキング
平成 29 年 6 月 13 日 (火) サービス調整会議
平成 29 年 6 月 15 日 (木) 利用者健康診断始まる
平成 29 年 6 月 24 日 (土) 阿波市障がい者スポーツ大会 市場
平成 29 年 7 月 1 日 (土) 調理実習
平成 29 年 7 月 8 日 (土) 水中ウォーキング
平成 29 年 7 月 10 日 11 日 12 日 (月・火・水)
板野支援学校高等部 3 年実習生受け入れ
平成 29 年 7 月 22 日 (土) 育成会映画「あいむはっぴい！と叫びたい」
平成 29 年 7 月 25 日 (火) 給食会議

作業種別部会及び事業所職員研修会に参加して

事務局長 新居 淳子

1 研修名

「事業所職員研修会・工賃向上計画達成に向かって」

2 日 時：平成 28 年 11 月 4 日（金）

場 所：眉山園

3 研修内容

講演 『工賃向上につながる事例』について

講師 社会福祉法人安芸市身体障害者福祉会 理事長 竹部 重夫氏

・工賃向上計画は達成する事が目的ではなく、目標に向かって職員の『意識の共有化』が大切と何度も話されていた。たった一人の職員のやる気なさが他の職員に連鎖反応してしまう。全ての職員が同じ方向に向かう情熱が大切。

・支払い工賃の基準を決め、利用者に対してどれぐらいの金額であれば自立できるのか逆算する。

・「計画が実施できないのであれば生活介護へ行きなさい」と厳しい意見も言われた。

・発注企業からの信頼を得る！

そのためには、ア.安全管理…労働災害を起こさない

イ.品質管理…不良品を出さない

ウ.生産管理…作業手順の遵守

エ.納品管理…納期厳守

オ.棚管理……在庫、棚卸遵守

・行事参加に積極的に参加する。B型事業所は仕事だけではなく、地域との交流も大事。

・仕事だけで利用者を格付けしない。仕事はするが、あいさつ、清掃等が出来ない利用者もいれば仕事あまり出来なくても毎朝挨拶をし、掃除もきちんとこなす利用者もいる。格差が広がらないように配慮もB型事業所には必要（A型は仕事中心）

竹部氏は「将来B型事業所の中で月 7.000 円～10.000 円しか払っていない事業所は潰れる、B型無くなりますよ、みなさん、もっと危機感を持って下さい、工賃を上げていかないと大変な事が待っていますよ」と話されていたが、その言葉に反応していたのは私だけ？のようで周りの人は皆平然としていた。社福とNPOの違いだろうか、行き先の不安を一層感じた研修であった。

連絡協議会研修会に参加して

サービス管理責任者 細谷 千保

1 研修名

「連絡協議会研修会」

2 日 時：平成 29 年 3 月 1 日（土）

場 所：ホテル千秋閣

3 研修内容

研修会 ①ドキュメンタリー映画『ぼくのなかの夜と朝』

②『こんなことで悩んでいる みんなで相談会』

① 研修会

『ぼくのなかの夜と朝』

（近藤文雄監修柳澤寿男監督 1971 年製作国立西多賀病院ベットスクールの筋ジストロフィー児 130 人の療育記録）を観ました。

筋ジストロフィーという病気は筋肉を衰えさせてしまう為、長く生きられないと言われている難病です。

ベットスクールと呼ばれ病棟で生活をする筋ジストロフィーの子供達の記録映画でした。

幼いわが子を病院に置いていかなければならない母親の心情、母を追って長い廊下を歩く子供の姿、全身をギブスで固定された子供、命を落とした時。

忘れることができません。正直あまりの重い映画に全身がどっと疲れたのを覚えています。そして、難病に対して自分の無知を知りました。

生きる事が困難であればあるほどひたむきに懸命に生きる姿、監督が描こうとしたものは“ありのままの姿”でした。

映画の中で時々流れている歌も印象的でした。

後で聞きましたが、「ぼくが鳥になったら」皆川おさむさんが歌っているそうです。日々の利用者との生活の中で、軽作業の中にも生きる意味を持ち、それぞれに過程があって達成がある事を改めさせられました。

② 相談会

相談会では事業所の若い人材の話になり、職員が高齢になってきた今、人材確保がどの事業所も大変と話されていました。大切な資源をなくさない為にも福祉に関心ある人材を受け入れ、実際に体験する事で自信と誇りを持って働く事が出来るよう取り組みが必要です。また職員の間関係や業務内容等に関する悩み不満等に対応するため相談窓口の充実も必要と思います。

自分の仕事の結果が、役立っているのを見聞する事で喜びを感じ、働く事が“幸せ”と感じる事が最も大切だと思っています。

平成 28 年度社会参加サポート事業

大人の発達障がい支援研修会に参加して

生活支援員 橋本 昭徳

1 研修名

平成 28 年度社会参加サポート事業大人の発達障がい支援研修会報告書

2 日時：平成 28 年 12 月 12 日（月）

場所：吉野川保健所

3 研修内容

講演 『大人の発達障がい ～困難ケースへの支援について～』

講師 徳島県発達障がい者総合支援センターハナミズキ

相談・就労支援担当 課長補佐 遠藤 朋子氏

徳島県発達障がい者支援センターハナミズキ相談・就労支援担当 課長補佐の遠藤朋子氏より大人の発達障がいについてお話がありました。

まず、はじめに発達障がい者支援センターの説明や発達障がいについての定義などの話があり、その後困難事例や支援内容などの話を聞かせていただきました。

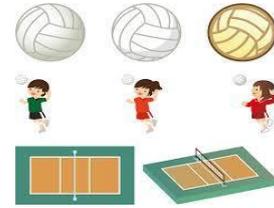
事例は 4 名ありそれぞれに相談時の年齢や内容が異なりその都度、利用者様に寄り添った支援を一緒に考えたり、家族を交えた取り組みなど視覚で分かりやすく説明してくれました。

最後は家族療法的な取り組みが必須だと話され、問題意識の薄い本人よりも家族を相手にして、周りが困っているケースの解決を探ることが大切だと話されました。

「誰が原因でなぜこの問題が起こったのか」を追求するのではなく、「どんな状況で、何が起きているのか」を見つけ出すことが支援につながるとも話されていました。

阿波地区民生委員・児童委員協議会の皆さまと

平成 29 年 5 月 30 日 (火)



民生委員さんが企画！

参加人数 民生委員：24 名

アスカ：利用者 16 名

職員 3 名

楽しい時間を過ごさせて頂き
ありがとうございました

レクリエーションスポーツ体験			
日 時：平成 29 年 5 月 30 日 (火) 10:00～			
場 所：阿波市阿波体育館			
スケジュール			
開 会	内 容	準備用具	時 間
挨拶 (主催者側・AWA にじいろクラブ)			10:00～10:10
準備体操			10:10～10:20
ゲーム①ボールリレー ②キンボールリレー ③状況による、大きなボール・小さいボールの ゲームに変更します。		ソフトボール キンボール	10:20～ 10:50
休憩・水分補給・トイレタイム			10:50～11:00
ニュースポーツ体験①パウンドテニス ②シャッフルボード ③プレイシート 2～3 種 ④ターゲットゲーム ⑤卓球		パウンドテニス シャッフル ボード プレイシート ターゲットボード 卓球台 1～2	11:00～ 11:30
クールダウン			11:30～
閉会			
・ハイタッチでお別れ			



(株)ルックス電子様より

ラミネーター&デジタルカメラを贈呈して頂きました

平成 29 年 6 月 22 日 (木)



北原社長様

大切に使用させていただきます！

平成 28 年度きょうされん第 16 回四国ブロック学習集会 in 高知

平成 29 年 2 月 24 日 25 日

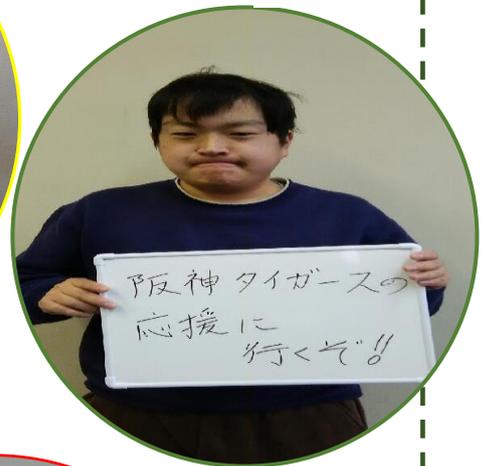
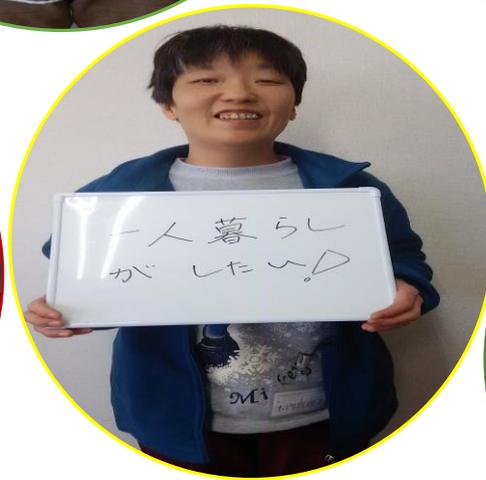
学習会ではアスカの事業所紹介をしました

テーマは『未来へのステップ 仕事の中にも楽しみを見つけて』です。

さてアスカの利用者さんはどんな夢を抱いて日々生活をしているのでしょうか

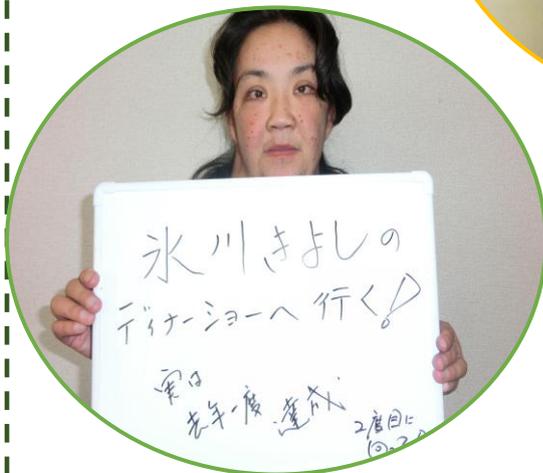
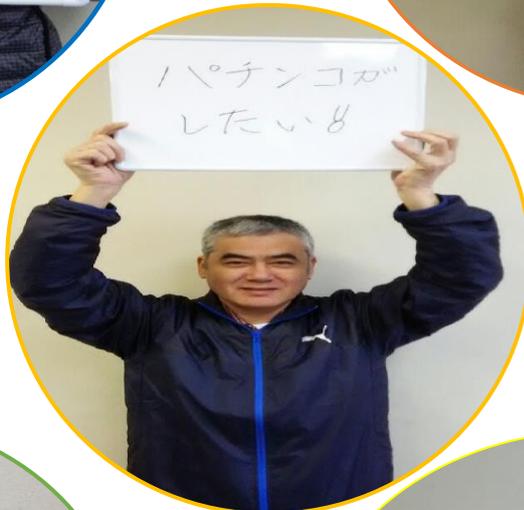
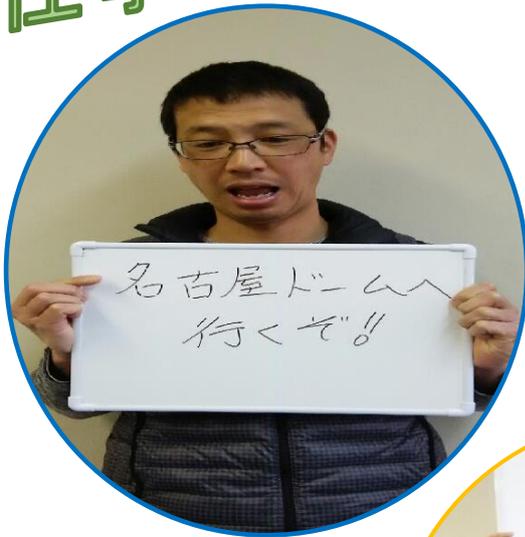
パワーポイントでご協力頂いた皆さまです！

わたしは



仕事はきびしいが

夢もある



平成 29 年 6 月 24 日 (土)



阿波市障がい者スポーツ大会に参加しました

毎年 6 月は賛助会費の更新月となっております。
会員の皆さまには引き続きあたたかいご支援お願い致します。
また新規会員さまご入会よろしくお願ひいたします。

年会費 正会員 一口 3,000 円

年会費 賛助会員 一口 1,000 円

年会費 団体 一口 5,000 円

〒郵便局 振り込み 特定非営利活動法人アスカ
口座番号 01600-9-130835

編 集 だより

闘病中のフリーアナウンサーが亡くなったとの報道に
すっかりやせ細った姿でしたが、口元はいつも微笑んでいるように見え
「いい顔」しているなど感じました。
そう思うと「いい顔」で歳を取れるように
今のこの時間を有意義に過ごしたいと強く思いました。